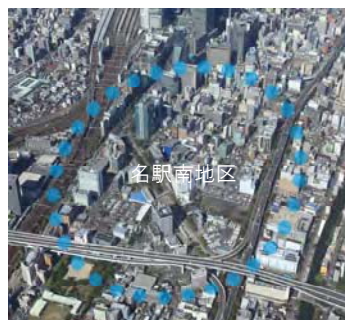


# 名駅南地区まちづくり協議会

## メイエキサザンクロスを目指す取り組み

櫻井 高志

名古屋駅の南東、さしまライ  
ブ24地区の東に位置する名駅南地区では地権者企業を中心とした



「名駅南地区まちづくり協議会」（以下、まち協）が設立され、エリアマネジメントに取り組んでいる。弊社も運営支援をさせて頂いており、その主な取り組みを紹介したい。

### まち協の設立

二〇一〇年、名古屋駅前においてリニア開業を見据えた開発が進行する中、地権者法人四社がまち協の前身である「名駅南地区まちづくり研究会」を設立し、まちづくりの研究を重ねてきた。その後、周辺の開発がさらに活発化する中、まちづくりを実行に移すべく研究会を解消し、二〇一六年七月、新たにまち協を設立した。現在の規模は正会員十六社、賛助会員二十社となっている。

### まち協の取り組み

#### ①まちづくりビジョンの策定

設立後、まず取り掛かったのは地区の共通目標となる「まちづくりビジョン」の作成である。まち歩きを皮切りに、ワークショップを計五回開催して会員間で議論を重ねるとともに、地元学区を通じて住民からの意見募集も行い、約一年半かけてまとめあげ、二〇一八年十二月に策定した。将来像は「みんなの希望がかなうまち キラリ輝くメイエキサザンクロス」とし、アイコンは南のサザンと交流のクロスをかけたサザンクロス（南十字星）となっている。

明るく未来を照らす星のようなまちを目指そうという強い意気込みが表れている。



#### ②三蔵通をクリエイティブに

広小路通と若宮大通の間、名駅から栄までほぼ直線で東西に走る三

蔵通がある。まちづくりビジョンでは、名駅南から栄ミナミまでの名古屋都心部の南側を「クリエイティブ軸」とし、三蔵通をそのシンボルロードに位置付けている。クリエイティブな取り組みを率先して行い、栄方面への人の流れを創出するのが狙いである。現在はこの三蔵通の具体的な空間デザインや活動を明確にするべく、ガイドライン作成を進めている。来年度以降はその結果をもとに、具体的な活動を始めていく予定である。

また、三蔵通には「クリバこ」というオープンなレンタルスペースが二〇一八年にでき、まち協もイベントや交流会で利用したり、様々なイベント展開もされている。また、名駅と栄の民間や有識者等で構成するNAGAYA創造協議会でも三蔵通へのクリエイティブ人材の集積を目指した動きがある。市も三蔵通を「起業意欲と感性を刺激する創造軸」と位置付けている。このように注目が高まり、色々な動きも見え始めた三蔵通は、今後が楽しみな通りである。

#### ③まちの美観創出

まち協ではまちを美しくするべく、ハンギングバスケット二十基を地区内の街路灯に設置している。これは半年ごとに、会員自らが花の購

入から植替え作業を行い、そして日々管理しているものである。また、清掃活動も住民等と協力して行い、まちの美化にも貢献している。



#### 今後大きく変わるまち

名駅南地区は名駅から近い割に低未利用地が多いが、開発により徐々に利用が進みつつある。中でも二〇一六年十月に劇団四季が伏見から移転したことは大きく、新たな人の流れができた。ここ数年ではビジネスホテルとマンションの建設が急増、超高層マンションの建設予定もある。また、三蔵通沿いではハローワークが移転し、跡地活用が検討中である。交通面では、名駅とさしまを結ぶ地下通路、都市計画道路笹島線、名古屋高速道路の新出入口などの計画もある。さらに名鉄名古屋駅など再開発の計画もある。このように名駅南地区は今後、確実にまちが大きく変わる。その中で、まち協の役割や期待感は益々大きくなるだろう。活動は徐々に軌道に乗りはじめたところだが、今後はさらにアクセルを踏み、多様な主体を巻き込み、活動を広げていくことを期待し、かつ応援もしていきたい。